

くらき永田保育園便り



園庭の遊具がきれいに塗装され、砂場やトリムの丘にも砂や土が運び込まれたこともあって子どもたちが今まで以上にダイナミックな遊びが展開されたり、砂や水を使って創意工夫したりする姿が見られます。園庭整備のお手伝いしていただいた保護者の皆さん本当にありがとうございました。力仕事汚れ仕事にもかかわらず笑顔で作業してくれていたことが子どもたちのココロにも印象に残ったようです。さて、これから夏に向けてくらき永田保育園の園庭はますます魅力的な活動が増えていきます。子どもたちが育てている野菜も順調に生長していますし、キウイやヤマモモが実りはじめ、アリやダンゴムシだけでなく様々な生き物たちも保育園に遊びに来てくれるようになります。園庭が最も多様性に溢れる季節が始まります。

《梅ジュースが美味しくなりますように！》

今年も舞岡のかねこふあ〜むで10キロの梅もぎを行いました。6月中旬には梅シロップが完成します。みんなで試飲した後は毎年恒例となってきた子どもたちが大好きな梅ジュース屋さんごっこを行いたいと思いますので是非お付き合ってください。昨年から大切にしている「自分が行動したことで」何か“が変わる体験”は人とのかかわりを学ぶだけでなく様々な教育効果があります。マイパブリック屋台を使った本格的なお店屋さんごっこを一緒にお楽しみください。

《学生さんも大活躍》

様々な人たちが保育園に訪れますが、6月から夏にかけて様々な学生さんがやってきます。実習生やインターン、ボランティアというカタチで将来保育を目指すために勉強にくる学生。また、直接保育にはかかわらないけれど子どものファッションや文化に興味を持っている学生、さらには社会課題の解決に興味を持ち保育園を知りたいといった若者もいます。保育園という空間には遊びと生活という大きな二本の柱がありますが、それって大人にとっても貴重な学びの場になるのだなと実感しています。今月は第一弾として湘北短大の学生さんが自分たちで考えた手作りおもちゃを持って登場です。子どもたちがたのしく遊んでくれるのか？自分たちのアイデアが子どもたちに評価してもらえるのかドキドキワクワクしているそうです。そんな小さなドラマも保育園では毎日のように起こっています。

《職員のマスク着用推奨の解除について》

令和5年2月10日に、厚生省からマスク着用の考え方が示された後も保育士のマスク着用推奨を行ってきましたが、6月1日より着用は個人の判断に委ねることを基本とします。一方、マスク着用が効果的、またはふさわしい場面の有無を職員会議などで継続的に話合いの場を持つことで感染防止に対応していきたいと思えます。

各クラスの絵本との出会いをお伝えします！



にこにこ

お天気の良い日はウッドデッキでの外気浴を楽しむにこにこ組。一人ずつお部屋に戻る時が絵本の読み聞かせの時間です！同じページで毎回両手足を動かして声を出して喜んだり、じっと絵を見つめたり、絵本に手を伸ばしたり、絵本より他のものが気になったり…。保育士も子どもたちの反応を楽しみにしてどんな風に読もうかな？と思いながらページをめくります。絵本の読み聞かせは『ぎゅー』『ぽんっ！』『わんわん』『ドキドキ』等の言葉のリズムの心地よさ、カラフルな色、動物や食べ物等にこにこ組の子どもたちが親しみを持てるもの、それらを子どもと保育士が絵本の読み聞かせで一緒に楽しめる時間でもあります。“くっついた”等の言葉が出てきた後で、実際にお子さんにくっついて、絵本の世界と一緒に楽しんでみることもおすすめですよ！



よちよち

お外遊びからお部屋へ戻る際、「お部屋に戻って絵本をみようね」や「今日の絵本は何がいいかな？」などと声を掛けると、遊びに夢中になっていた子どもも遊びを終えています。お部屋に戻ってから読む絵本が子どもたちにとって楽しみの1つになっているようです。

以前は読み聞かせの途中でも他のことが気になると何処かへ行ってしまう子もいましたが、最近は夢中になって見ている姿がどんどん増えてきました。登場してきたものを指差ししたり、食べる真似をしてみたりと絵本の世界に入り込んでいる様子もあります。

保育士が「絵本」というワードを出すだけでいつも読んでいる場所に座って待っていてくれる姿もあり、子どもたちの中で絵本が親しみのあるものや楽しいものに変化しているのだと感じます。

これからも子どもたちの興味を引き出していけるように絵本の時間を大切にしていきたいです。



すくすく



すくすく組の子どもたちは、懇談会の際に紹介した『きよだいな きよだいな』の絵本が大好きです。保育士が読んでいると「あったとき、あったとき」のフレーズと一緒に口ずさんだり、お気に入りのページが出てくると指を差して「〇〇〇ばん・こわーい」など、友だちと顔を見合わせながら様々な反応を見せてくれています。

絵本を通して、友だちとのコミュニケーションが広がり、生活の中でも大切な時間になっているのだと感じます。

今後は、保育室に絵本コーナーを設け、自分で読める場所を環境として取り入れようと考えています。保育士に読んでもらう時とまた違った感性で絵本の魅力を発見してほしいです。

*すくすく組は毎週火曜日が絵本の貸出日です。

親子でお気に入りの1冊を見つけてお家での絵本タイムも楽しんでくださいね。



異年齢



異年齢のもりグループ、うみグループには、それぞれ絵本コーナーがあります。

子どもたちが興味のある絵本を自由に選び見ることができます。自分で手に取り絵や文字に触れることで絵本に親しみを持てるようになり、そこから自分なりに話を作ってみるなどイメージを広げています。

例えば、絵本『おべんとうバス』を読んだ子が、「ぼく、バスを作りたいよ」と声をあげてくれたことがきっかけで、「じゃー、どうやってつくろうか?」「えほんみてつくってみよう」など、様々な意見が出ました。子どもたちがアイデアを出し合うことで、協力したり共感する気持ちも芽生えているように感じます。

そこから、バス作りがはじまりバスごっこ遊びに発展していきます。

また、絵本を通し、季節を感じることもできます。

6月の朝の集まりの時間には、『ぞうくんのあめふりさんぽ』や『かたつむりののんちゃん』のような梅雨の時期ならではの絵本を子どもたちと一緒に読んで、絵本に登場する動植物探しをしたりしながら、じめじめ気分を吹き飛ばしていきたいです。



給食室

園では毎月、物語メニューの日を設けていて、その日は、1冊の絵本を題材にして給食（おやつ）をだしています。物語メニューの内容は、絵本にでてきた食べ物を使用したり、絵本の中の料理を再現したりと、様々です。人気が高いものあり、3月のいきいきさんのリクエスト献立で、名前が挙がることも多いです。当日は、食堂の配膳台に絵本を置いているため、異年齢さんは「どのページに物語メニューがあるのかな」と探したり、食事中も絵本のお話をしたり、いつもより賑やかな1日になっています。物語メニューの日の様子は、保育園ホームページのダイアリーで、写真と共にアップしているので、ぜひご覧ください！6月以降も、どんな絵本のメニューがでるのか楽しみです。

食育係より

今年度も各クラスで様々な野菜を植えました。子どもたちは「はやくおおきなあれ！」「おいしくなあれ！」と魔法の言葉を掛けながら野菜の苗や種に水やりを楽しんでいます。元気に成長してほしいです。

そして、6月と言えば『食育月間週間』です。皆さんご存じでしたか？なぜ6月が食育月間なのかと言うと、食育基本法が平成17年6月に成立したことや、学校や社会生活が少し落ち着き、国をあげて取り組みやすい時期だったこともあり6月になったそうです。

また、毎月19日は食育の日で、食育の『食（しょく）』が『しょ→初→1』、『く→9=19』、『育（いく）』が『い^いく』を連想させること、第1回目の食育推進会議が平成17年10月19日に開催されたことに由来しているようです。

そこで、ご家庭でも楽しく気軽に食育を実践してみませんか？例えば、子どもと一緒に野菜を育てる、育てた野菜や買った食材で一緒にお料理をする、みんなで楽しく食事をする、食べ物の生産から消費までを学ぶなど… 私たちも保育を通して子どもたちと一緒に食育活動ができたと思います。

『保育園における食育の目標』



①お腹がすくリズムのもてる子ども



②食べたいもの、好きなものが増える子ども



③一緒に食べたい人がいる子ども



④食事づくり、準備にかかわる子ども



⑤食べものを話題にする子ども

今月の行事

- 1日(木) 尿検査キッド配布 (異年齢)
梅ジュース作り (異年齢)
- 7日(水) 歯科検診①
- 10日(土) 布団乾燥
- 15日(木) 久保先生わらべうた
- 16日(金) 一次尿検査 回収日
- 27日(火) クーベルチップお話し会 地域向け
- 30日(金) 二次尿検査 回収日